



世界が認め
た庭園美

Beautiful Garden

掬月亭(きくげつてい)と和船

特別名勝

栗林公園

香川県高松市



上/栗林公園は北庭と南庭で構成される。写真は初秋の南庭の南湖。手前中央に偃月橋(えんげつきょう)、奥に掬月亭(きくげつてい)。シンボリックなビュースポットとなっている。

下/小普陀(しょうふた) /室町時代の石組みの手法で造られた丘。栗林公園が始まった場所といわれている。

国の特別名勝に指定されている香川県高松市の「栗林公園」は、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンで「わざわざ旅行する価値がある」を意味する三ツ星を獲得し、国内外からもその名を知られる大名庭園である。約七十五ヘクタールの広大な面積を有し、文化財に指定された庭園の中では国内最大の広さを誇る。

その起源は古く、十六世紀後半に当地の豪族佐藤氏が現在の公園南西部にある「小普陀」と呼ばれる人工の丘辺りに庭を作ったことが始まりとされる。一六三〇年代(寛永年間)、讃岐国領主の生駒高俊公によって、南湖一帯が造園され現在の原型が形づくられた。

その後、高松藩初代藩主・松平頼重公に引き継がれ、さらに百年以上経た一七四五年(延享二)、五代頼恭公の時代について完成をみる。以降も歴代藩主によって修築が重ねられ、明治維新までの二百年以上もの間、松平家十一代の下屋敷として使用された。一般に公開されたのは明治八年のことである。

栗林公園は、紫雲山を背景として、平庭に六つの池と十三の丘を巧みに配す。富士山に見立てて造られたといわれる築山「飛来峰」からの眺望は、栗林公園を代表するビューポイントだ。南湖にアーチ

を描く橋「偃月橋」から、奥の「掬月亭」まで、一幅の絵画のような美しい風景を見渡すことができる。

「栗林」と名はつくものの栗の木は少なく、現在園内には数本あるのみ。かつては飢餓の際の食料とする目的で北門付近に栗の木が植えられていたとも言われている。栗林公園を構成する主たる樹木は、松である。園内には千本以上の松が立ち並び、それらが美しく整えられている。

南湖の北側には、箱の形に刈り揃えられた「箱松」と背の高い「屏風松」がそれぞれ歩道に沿って並木をつくり、美しい景観を演出する。箱松の複雑な樹形は、栗林公園独特のもので、三百年以上にわたる手入れの積み重ねにより見事な枝ぶりが保たれている。また南湖の西岸にある掬月亭のたもとにある「根上り五葉松」は、江戸幕府十一代将軍の徳川家斉公から賜った盆栽が大きく成長したものとされている。石を組み合わせて亀を表現し、鶴が舞っているような姿をした黒松を配した「鶴亀松」は、高松藩の家老・稲田貞一が松の手入れに熱中するあまり時間を忘れて登城に遅刻したために、禄高を百石減じられたことから別名「百石松」とも呼ばれるという逸話をもつ。

この園の美しい風景を守っていくために、栗林公園観光事務所造園課の職員らが維持管理にあたっている。北庭・南庭の樹木剪定を担当するのは、造園の実務経験や国家資格を持つ庭師だ。園内約千四百本の松のうち庭師が管理する手入れ松

鶴亀松



110個の石を組み合わせて亀を表現し、鶴が舞っているような姿をした黒松を配している。

箱松



樹葉の幹を極めた箱松はまさに長年の手入れの賜物。

根上り五葉松



参勤交代で江戸参府の際、11代将軍から賜った盆栽が成長したと伝えられる巨木。

は、約千本。園内の樹木を誰が見ても美しいと感じるよう手入れをする。数百年先を見据えて行う、ゴールのない仕事でもある。自然を相手にすることは、ままたならないからこそ面白く、それでも手をかければ応えてくれる、そんな庭づくりに魅せられた人々の手によって栗林公園の歴史は紡がれていく。「歩一景」といわれる変化に富んだ美しさは、それを守り伝える続ける人たちが支えているのだ。

栗林公園から三キロメートルほどのところには、「玉藻公園」として公開されている、かつて松平家の居城であった高松城跡がある。

瀬戸内の海水を外堀、中堀、内堀に引き込んだこの城は日本の三大水城のひとつ。水門で海と繋がっているため、お堀には真鯛など海の魚が泳いでおり、「鯛願成就(大願成就)」と名付けられたユニークな鯛のエサやり体験や城舟体験も楽しめる。園内には往時の面影を伝える月見櫓、長櫓、国指定重要文化財の披雲閣、国指定名勝の披雲閣庭園など見どころも多い。

高松藩初代藩主の松平頼重公は、水戸黄門のモデルとして知られる徳川光圀公の兄でありながら、跡継ぎにされず、若いころは不遇であった。しかし徳川三代将軍家光公の信頼も篤く、四国の交通の要所である高松に十二万石で入封される。頼重公は和歌を嗜み、茶や花を愛する風流な

人で、漆器や彫刻にも造詣が深く、漆器づくりを積極的に進めて名工を育てたと伝わる。

栗林公園も玉藻公園も、高松の中心市街地でありながら、一歩足を踏み入れると都市の喧騒とは別世界が広がっており、美しい自然が織りなす穏やかな空気が心地よく、しつとりと心を潤してくれる。風雅を好み、文化を愛した頼重公の思いは、今も高松の街にしっかりと息づいている。歴代藩主もこよなく愛した歴史あるこのふたつの庭園は、この先も清澄な美しさを保ちながら、世界中から訪れる人々を温かく迎え入れてくれるだろう。

史跡高松城跡

玉藻公園



●桜御門
令和5年に77年ぶりに復元された



●堀を泳ぐ真鯛
お堀には海水が引き込まれ真鯛など海の魚が泳ぐ



●長櫓(うしとらやぐら)
旧太鼓櫓跡 重要文化財指定



●鞘橋(さやばし)
本丸と二の丸を結ぶ連絡橋



栗林公園 香川県高松市栗林町1丁目20-16 TEL 087-833-7411
開園時間/日の出～日没(月によって変動)
入園料/一般(大人410円・小人170円) 年中無休

玉藻公園 香川県高松市玉藻町2番1号 TEL 087-851-1521
開園時間/8時30分～17時(季節によって変動)
入園料/200円(休)12月29～31日

おみやげ紹介

和菓子・献上菓

讃岐特産和三盆糖を使用した誰にも親しまれる、さぬき名物の和菓子、献上菓。



半生さぬきうどん

釜揚げでもざるでもかけてもおいしく楽しめる人気の半生さぬきうどん。



UDON AGETAN



製造過程で規格外になっただぬきうどんを揚げた、新食感のお菓子。味は甘と塩の2種類。食品ロスに配慮しています。

香川本鷹 鬼びっくり一味唐辛子

香川本鷹唐辛子を100%使用。鮮やかな赤色、強い辛みとしっかりとした旨みを持つことが特長です。



樽製! フィッシュナゲット

「酒好き女子の家飲み需要」を捉える商品。からだにやさしくつまみやすい、もちり食感で香りが美味しい樽製揚げかまぼこです。

